

## 市原市の地域医療推進に向けた取組について

令和6年3月12日

令和5年度第3回市原地域保健医療連携・地域医療構想調整会議  
市原市

### 【経過】

○令和5年12月11日

学校法人帝京大学が、帝京大学ちば総合医療センターをちはら台へ移転することを決定

○令和6年1月10日

市原市では、移転決定を受け、市西部地区において再び医療の空白化が懸念されることから、現在千葉県が策定を進めている次期千葉県保健医療計画の計画期間（令和6～11年度）において、当該事情を考慮した病床の整備等が可能となるよう、千葉県知事へ要望書を提出

### 【課題】

- 帝京大学ちば総合医療センターの移転による、市西部地区の総合病院空白化
- 市原保健医療圏における救急医療体制の偏在

### 【市原市の取組方針】

- 市西部地区において、二次救急を担うことを想定した病院の設置または誘致に向け、検討を進める
- 次期千葉県保健医療計画の公表後に想定される新たな病床整備に向けた緒手続きについて、遅滞なく対応できるよう準備を進める

### 【千葉県への要望事項】

1. 千葉県保健医療計画において、今回試案として示された市原保健医療圏の基準病床数（2,457床）を成案化されたい
2. 千葉県保健医療計画の策定後、できるだけ速やかに市原保健医療圏の病床配分に向けた整備計画の公募手続きを開始されたい
3. 病床整備計画の公募手続きにおいて、市原保健医療圏の特殊事情を考慮のうえ、市原市の取組に特段の配慮を願いたい